

普通救命講習会を開催しました。

投稿日時: 2013-03-29 11:47:17 : [平成24年度の話題](#)

福島高専では、3月19日(火)に、いわき市消防本部平消防署員の指導のもと、心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の使用方法を習得する講習会を本校で開催しました。この講習会は、学生及び教職員等の異常時に対応できるようにすることを目的に開催し、教職員を20名が参加しました。

講習では、心臓マッサージ・人工呼吸や止血法の心肺蘇生法の説明を受け、救急車が到着するまでに現場に居合わせた者と連携して行うAEDを用いた心肺蘇生法について、ダミー人形を使用する実技を3時間行いました。

救命措置に対する正しい知識・処置方法を身につけ、教職員が緊急時に、迅速かつ適切な措置をとることができる有意義な講習となりました。受講者には、いわき市消防本部より「普通救命講習修了証」が発行されました。



講習会の様子

真剣に取り組む参加者

[0コメント](#)

平成24年度福島工業高等専門学校協力会奨学金贈呈式を開催しました。

投稿日時: 2013-03-26 15:33:04 : [平成24年度の話題](#)

3月14日(木)、福島工業高等専門学校協力会(中山哲男会長)の平成24年度奨学金贈呈式を開催しました。同会は、本校の教育・研究活動の支援・振興事業の一つとして、平成16年度より本校専攻科学生を対象とした奨学金制度を設けています。

今回は、平成24年度専攻科生5名に奨学金を贈呈し、学生代表として、機械・電気システム工学専攻の箱崎英俊さんがお礼のことばを述べました。



お礼のことばを述べる箱崎さん

奨学金贈呈の様子

[0コメント](#)

[平成24年度第8回専攻科修了証書授与式及び第47回卒業証書授与式を挙行了しました。](#)

投稿日時: 2013-03-25 15:02:09 : [平成24年度の話題](#)

本校では、3月15日(金)、平成24年度の修了式と卒業式をいわき芸術文化交流館アリオスで挙行了しました。

今年度は専攻科生23名、本科生197名が巣立ち、奈良校長から修了・卒業証書がそれぞれ授与されました。来賓祝辞では、いわき市役所 行政経営部長の前田直樹氏が、市長 渡辺敬夫氏の代理で祝辞を述べました。告辞では、本校の奈良校長が、50周年記念の年に高専での最終学年を迎え、将来に渡し思い出として残るものと述べ、自らに自信を持って、健康に留意し、すばらしい人類の未来を築いて行って下さいと卒業生・修了生に言葉を贈りました。



社会人特別教育プログラムを開催しました。

投稿日時: 2013-03-12 11:05:06 : [平成24年度の話題](#)

福島高専では、文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、地域復興のための再生可能エネルギー発電の一つである風力発電について「風力発電への期待」と題して2月3日（日）～2月26日（水）までの間、関連企業・一般市民を対象に計4回の社会人特別教育プログラムを開催しました。

第1回は「風力発電の将来性」について

講師: 足利工業大学長 牛山 泉氏

「福島県の再生可能エネルギー関連産業の集積・育成に向けた取組について」

講師 福島県商工労働部 次長 鈴木 精一 氏

第2回は「風力発電技術概論」について

講師: HIKARUWIND.LAB代表取締役、産総研客員研究員 松宮 輝氏

第3回は「浮体式洋上風力発電技術」について

講師: 丸紅(株)国内電力プロジェクト部 副部長 福田 知史 氏

三菱重工業株式会社 原動機事業本部

風車事業部 洋上風力開発プロジェクト室 主席技師 堀 進一 氏

第4回は「風力発電の電力系統連系技術」について

講師: (財)電力中央研究所 システム技術研究所 副所長 七原 俊也 氏

上記の内容で受講者約60名が参加しました。

受講者は風力発電の仕組みや系統連系に関心を持ち、また、いわき市沖に計画されている大規模な「浮体式洋上風力発電」に期待を寄せて聴講していました。



第1回 牛山 泉氏 第2回 松宮 輝氏



第3回 福田 知史 氏 第4回 七原俊也氏

[0コメント](#)

第一グラウンドの改修工事が終了しました。

投稿日時: 2013-03-07 11:28:59 : [平成24年度の話](#)

雨が降ると水たまりになってしまう第一グラウンドでしたが、東日本大震災で液状化現象も発生したため、平成24年10月からグラウンドの改修工事が行われました。工事の内容は、表面土壌の除去と暗渠工事を行い、工事期間4ヶ月、平成25年2月に改修工事が終了し、完成検査を行い、使用可能となりました。改修工事により、トラックのアンツーカー、グラウンド全体の水はけ等、これまでのトラブルが全て解決されました。





改修中のグラウンド



改修後のグラウンド

[0コメント](#)

[創立50周年記念植樹を行いました。](#)

投稿日時: 2013-03-06 13:38:22 : [平成24年度の話](#)

3月1日(金)に創立50周年記念の一貫として図書館北側の庭園へオオヤマザクラの記念植樹を行いました。

これは、本校の桜が老木化してきたのに伴い、奈良校長からソメイヨシノ50本、エゾザクラ50本の寄贈があり、現在ある桜の木の間に植えられました。

記念植樹は、山ノ内創立50周年記念事業委員長からの挨拶、奈良校長から山ノ内委員長へ目録の贈呈、奈良校長の挨拶後に、奈良校長・山ノ内委員長・高橋雄一学生会長の3名で記念植樹を行いました。



目録贈呈の様子

記念植樹の様子



参加者による記念撮影

[0コメント](#)

東北地区高専文化部発表会を開催しました。

投稿日時: 2013-01-18 10:52:39 : [平成24年度の話題](#)

東北地区高専文化部発表会の作品展示を1月8日(火)～11日(金)の日程で図書館棟学生ホールにおいて行いました。

この発表会は、毎年、東北地区高専文化部の作品を各高専が持ち回り展示の形式で実施しているものです。今回は絵画94点、写真101点の作品の中から、本校は絵画部門で入選3点、写真部門で特選1点、入選3点の成績を収めることができました。写真部の特選受賞は6年連続となります。

受賞者は以下のとおりです。

【絵画部門】	入選「色彩構成」	建設環境工学科4年	福井さん
	入選「色彩構成」	電気工学科3年	吉田さん
	入選「色彩構成」	コミュニケーション情報学科2年	橘内さん
【写真部門】	特選「Soul Shaker」	電気工学科2年	小川さん
	入選「あたしが流したいの！」	機械工学科3年	草野さん
	入選「秋の流れを」	電気工学科2年	高橋さん
	入選「ふたりでBoonBoon」	建設環境工学科2年	仁平さん



展示の様子



表彰式

[0コメント](#)

第12回福島県中学生ロボット競技会を開催しました。

投稿日時: 2012-12-17 15:51:15 : [平成24年度の話題](#)

12月15日(土)に第12回福島県中学生ロボット競技会を開催しました。(主催:福島高専、後援:福島県教育委員会、指導:機械工学科長 高橋 章、他)

この競技会は、本校が主要部品を中学校に提供し、A4用紙サイズ以内のロボットを作製し、基本競技と応用競技の2種類の競技を実施するものです。

1)登坂競技(基本):登坂を含む7mの直線コースの走行タイムで順位を決めます。

2)つみき競技(応用):フィールドに置かれた3つのステージに四角形板、円柱、三角 形板のつみきを積み上げます。

今回、9校の中学校、18チームの応募があり、当日も多くの方々にご参加いただきました。競技では、小名浜第一中学校が総合優勝を果たし、四連覇を達成しました。

主な成績は以下の通りです。

総合成績

- ・優勝 小名浜第一中学校B
- ・2位 小名浜第一中学校A
- ・3位 湯本第一中学校B 檜葉中学校A

登坂競技

- ・1位 小名浜第一中学校B
- ・2位 小名浜第一中学校A
- ・3位 檜葉中学校A

つみき灯台Ⅱ競技

- ・1位 小名浜第一中学校A 小名浜第一中学校B
- ・3位 湯本第一中学校B

全競技の結果は[こちら](#)をご覧ください。



競技のようす

熱心に取り組む学生

[0コメント](#)

「第5回先端ものづくりチャレンジ2012イン習志野」に参加しました。

投稿日時: 2012-12-14 13:54:25 : [平成24年度の話題](#)

12月2日(日)に、モリシア津田沼1階センターコートで行われた「第5回先端ものづくりチャレンジ2011イン習志野」の知能ロボット競技部門に、分子生物学愛好会の知能ロボット研究グループが参加しました。

(チーム名: 堀越くまさんnona、マシン名: chibi3、チームメンバー: 2C岩崎莉歩、2C西郷知樹、(当日欠席: 2C菅原佳奈)、愛好会マネージャー: 1C宗像繭)

競技では、3台連携の予定がロボットの不具合で2台連携になりましたが、本線に進出し、アイデア賞をいただきました。





表彰

競技

[0コメント](#)

「防災・減災に役立つGIS(地理情報システム)入門」を開催しました。

投稿日時: 2012-12-13 16:06:13 : [平成24年度の話題](#)

12月9日(日)に、公開講座「防災・減災に役立つGIS(地理情報システム)入門」を開催しました。

GISとは、地理情報システム(Geographical Information Systems)の略称で、コンピュータ上で地図を作成したり、解析したりするソフトウェアです。このGISは、教育・研究・行政のみならずエリア・マーケティングや都市計画、交通、環境評価、防犯、防災などに広い分野に利用されています。

本年度の内容は、昨年3月の東日本大震災を踏まえ、世界的に最も普及している汎用型GISソフトウェアであるESRI社のArcGISを使って、防災・減災に役立つ地図の作成を行い、その結果をもとに災害への対応策を考えてもらおうというものでした。

午前中は、GISについての簡単な説明のあと、ArcGISの操作練習やGPS機能を利用した地図作成を学びました。午後からは、GISを活用して身近な地域における災害危険箇所を把握したり、津波の浸水域と標高、地形の関係を理解したりしました。

また、GISを活用して津波災害時における避難地点までの最短経路の検討も行いました。

本講座では、対象を中学生から一般社会人までとしていたこともあり、親子での参加や兄妹での参加もありました。参加者の皆さんのなかには少し難しいと感じた方もいたようですが、GISのもつ様々な可能性を感じ取っていただけたと理解しています。

本校に導入されているGIS関係のソフトウェアは、全国の高専のなかでも、また東北地方の高等教育機関のなかでも充実したものとなっております。今後もGISを活用した地域貢献を行っていきたいと考えております。なお、本講座で使用した「推定津波浸水域データ」は、株式会社パスコから無償で提供していただきました。



GISを操作する受講者の皆様

GISによる解析結果の説明

[「LEDイルミネーションプレートを作ろう」を開催しました。](#)

投稿日時: 2012-11-27 11:47:19 : [平成24年度の話題](#)

11月18日(日)に、モノづくり教育研究支援センター公開講座「LEDイルミネーションプレートを作ろう」を開催しました。

この講座は、市内小学4年生から中学3年生を対象とした機械工作と電気工作を組み合わせ1つのモノを作りあげるモノづくり体験講座です。ツリーが七色に輝き、飾り付けや雪が交互に光りクリスマスをきれいに彩ります。

学内の最新設備(マシニングセンター、レーザー加工機、基盤カッター等)を使用しオリジナルの部品を、機械工作では手仕上げ(ネジ切、ヤスリがけ)、電気工作では はんだ付け(電子回路の製作)の作業を行い、それぞれがデザインしたメッセージプレートを組み上げました。

参加者は世界で一つ自分だけのイルミネーションプレートに感動していました。

今回は20名の開催でしたが、応募者多数のため多くの方にご参加いただけませんでした。来年度は参加者数と開催回数を増やし多くの方に参加して頂くように予定しております。



完成品を持っでの記念撮影

完成したLEDイルミネーションプレート

[創立50周年磐陽祭を開催しました。](#)

投稿日時: 2012-11-21 16:34:31 : [平成24年度の話題](#)

11月3日(土)に本校で創立50周年記念磐陽祭が開催されました。

天候にも恵まれ、また、2年ぶりの磐陽祭ということもあり、来場者は2,000名を超え、盛況の内に終了することができました。

今年度の磐陽祭のテーマである「We will never stop, ～私たちは止まらない 50年を糧に～」には学生たちの復興への思いと創立50周年という伝統を大切にしたい思いが込められました。

また、同時に開催したオープンキャンパスでは、各科・各研究室の紹介を行いました。こちらにも多数ご参加いただきありがとうございました。

今年度から第一グラウンドの駐車場が使用できないことから、来場者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。来年度以降も第一グラウンドは使用しない予定となっておりますので、ご来場の際には、公共交通機関をご使用になるようにご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

メインアーチ	前夜祭(物質工学科)	電気工学科
エネルギー研究会(ソーラーカー)	無線通信部と学生会	演劇部
写真部	硬式テニス	菊池章夫さん(特別ゲスト)

[0コメント](#)

[高専ロボコン東北地区大会を開催しました。](#)

投稿日時: 2012-10-30 10:26:27 : [平成24年度の話](#)

10月28日(日)、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012 東北地区大会をいわき市総合体育館で開催しました。今年度は本校が主管校として、東北地区の高専チームをいわきに迎えました。今年の課題は『ベスト・ペット』で、動物を模したロボットと高専生がフィールド内で9個のボールを集め、ゴールに入れるポイントと時間を競いました。本校からも2チームが出場しましたが、残念ながら2チームとも2回戦で敗退してしまいました。

会場にはたくさんの方々にご来場頂き、フィールドのチームに大きな声援を送って頂きました。お陰様で無事大会を終えることができました。厚く御礼申し上げます。

優勝 梶子兄弟(ワンコキョウダイ 一関高専)

準優勝 CAME正宗(カメマサムネ 仙台高専 広瀬) でした。

なお、当日の様子は11月23日午後1時5分からNHK総合テレビで放送される予定です。



本校 A チーム

本校 B チーム

大会結果はこちらから⇒http://www.nhk.or.jp/robocon/rbcn2012/k_result.html

[0コメント](#)

福島高専創立50周年記念式典を挙行了たしました。

投稿日時: 2012-10-29 16:07:13 : 平成24年度の話

10月20日(土)、本校の創立50周年記念式典をいわき芸術文化交流館 アリオスにおいて挙行了たしました。会場にはご来賓の方々・市民の皆さん、学生・教職員など約1600人が出席しました。

式典は、奈良校長の式辞では、本校の歩みと使命、特に震災により被災した福島県の高専機関として「地域の復興を支援すると共に、いわきの地から世界で活躍できる人材を育成する」とこれまでの取り組みと決意が式辞の中で述べられました。続いて文部科学大臣(板東高等教育局長代読)、国立高専機構理事長(木谷理事代読)、福島県知事(村田副知事代読)、いわき市長(鈴木副市長代読)、新原長岡技術科学大学長から祝辞を頂きました。式典の最後には、在校生を代表して学生会会長から復興への誓いが力強く宣言されました。

式典後は記念講演会として本校工業化学科1回生で創成国際特許事務所所長の佐藤辰彦氏による講演会を開催しました。「日本、世界そして未来をつくる若者たちへ」と題して、次の世界を担う後輩たちに熱いエールが送られました。

祝賀会は会場をいわきワシントンホテル椿山荘に移し、来賓・同窓生・教職員OBなど300名を越える出席を得て盛大に開催されました。



[記念式典での校長式辞 板東高等教育局長による祝辞](#)



[佐藤辰彦氏による記念講演祝賀会での鏡開き](#)

[0コメント](#)

[板東高等教育局長が本校を視察されました。](#)

[投稿日時: 2012-10-29 15:59:42 : 平成24年度の話題](#)

[文部科学省の板東高等教育局長が10月20日に本校を視察されました。](#)

[本校の教育・研究の状況を担当教職員から説明を受けながら、学生寮、実習工場、地域環境テクノセン](#)

ター、物質工学科などを見学されました。特に平成23年度「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」により整備が進められているスマートグリッド実規模実験装置及び放射線測定装置の視察では、担当教員に活発に質問されるなど今後の活動に期待されていることを寄せられました。視察後、奈良宏一校長が本校の概要、特色ある教育・研究活動の説明を行いました。この視察には文部科学省の秋庭専門教育課長補佐、高専機構本部から木谷理事にも参加頂きました。



奈良校長からスマートグリッド実規模実験装置の説明を受ける板東局長(右)と木谷高専機構理事



放射線測定装置の説明を受ける板東局長(左から2人目)と木谷高専機構理事

[0コメント](#)

防災訓練を実施しました

投稿日時: 2012-10-25 11:59:00 : 平成24年度の話題

10月17日(水)に、防災訓練を平消防署立ち会いのもと、行われました。

物質工学科棟第1実験室を火災現場と想定し、訓練は全学生及び教職員が参加し、避難終了後の講評では消防署員から、速やかな避難ができていたと好評をいただき、火災時における煙への対処法として、スーパリーの袋を用い具体的な使用例について説明がありました。

また、講評後の部分訓練では、3年生を対象として、消火器を使用した消火訓練が行われ、学生たちは熱心に取り組んでいました。





[消防員の指導のもと消火する学生](#)

[講評する平消防員](#)



[グラウンドへ避難する学生](#)

[0コメント](#)

[平成24年度いわき地区高等学校写真展で写真部員が特選を受賞](#)

投稿日時: 2012-10-19 09:26:00 : 平成24年度の話

[平成24年いわき地区高等学校写真展が10月9日～11日に開催されました。審査の結果、本校写真部員4名が入選しました。](#)

[特選 仁平（建設環境工学科2年）](#)

[準特選 高橋（電気工学科2年）](#)

[入選 草野（機械工学科3年） 小川（電気工学科2年）](#)

[3年連続で特選を受賞するなど記録を残すことができました。](#)

[今月20日から、アリオス1階で街コン写真展を開催します。アリオスにお立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。](#)



[受賞者たち](#)



[街コン写真展](#)

「モデルロケット講座」を開催しました。

投稿日時: 2012-10-05 10:24:19 : 平成24年度の話題

本校では久しぶりの開催となる「モデルロケット講座」の第1回が9月30日に行われました。今回の講座は、1時間ほどロケット工学について学んだ後、紙から部品を切り出して自らモデルロケットを作製し、最後に作ったロケットを安全な打ち上げを行う内容で行われました。

当日は、台風17号の接近により講座の実施が心配されましたが、空も晴れ、風も穏やかな中で、各自が作ったモデルロケットを天高く打ち上げることができました。参加した子ども達は、初めて作ったモデルロケットが高く打ち上げる光景に感激した様子でした。



モデルロケットの作製集合写真

「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」を開催しました。

投稿日時: 2012-09-26 09:19:48 : 平成24年度の話題

福島工業高等専門学校とアカデミア・コンソーシアムふくしま(ACF)の共同主催で、福島県、福島県教育委員会等の後援のもとに、平成24年度福島高専「学校開放授業」の一環として「福島県中学生ブリッジデザインコンテスト」を実施しました。

例年通りの3回シリーズの「講座とコンテスト」として、第1回「学んで」8月19日(土)、第2回「作って」9月1日(土)、第3回「コンテスト」9月15日(土)に、県内11中学校から25名が参加しました。参加者からは、「多少むずかしい内容ではあったが、楽しく勉強できた。」との感想が多く寄せられました。受講の状況も、細く華奢なバルサ材から、より強い構造を作るのに悪戦苦闘しながらも、皆熱心に取り組んでいました。作品はそれぞれに工夫をこらした力作が多く、特に上位入賞者の作品などは、部材を効率的に使ったものや、効果的な局所強化策を的確に取り入れたものなど、アイデアが盛り込まれたものとなっており、中学生の発想の柔軟さと、体験的に構造の性質を把握する鋭さに驚かされるものが多かったです。



制作風景

コンテストの様子

コンテスト作品と中学生

[0コメント](#)

「第7回中学生プログラミングコンテスト」を開催しました。

投稿日時: 2012-09-19 09:50:14 : 平成24年度の話

9月2日(日)に、本校主催「第7回中学生プログラミングコンテスト」が開催されました。

9チーム24人の中学生が参加し、初級・中級・上級あわせて20問の基本問題、応用問題に挑戦し、プログラミングの腕を競いました。

優勝は錦中学校の中澤君、渡邊君のチーム、2位は平二中の大和田君、鈴木君、武田君のチーム、3位は平三中の石井君、鈴木君、古生君のチームでした。



競技の様子

熱心に取り組む生徒



[「中学生のためのプログラミング入門」を開催しました。](#)

投稿日時: 2012-08-31 13:33:03 : 平成24年度の話題

[この8月25日\(土\)、26日\(日\)の2日間、公開講座「中学生のためのプログラミング入門」が開催されました。約40名の地元中学生が参加し、10進Basic言語によるプログラミングを勉強しました。「楽しかった」「難しかったけど楽しかった」という声が聞かれました。](#)

[受講者の何人かは9月2日\(日\)に開催される「第7回中学生プログラミングコンテスト」にも参加する予定です。](#)



[プログラミングを実践する様子](#)

[熱心に取り組む参加者たち](#)

[建設環境工学科インターンシップを開催しました。](#)

投稿日時: 2012-08-31 11:58:32 : 平成24年度の話題

[建設環境工学科インターンシップ～建設環境の世界をのぞく～](#)

[8月23日\(木\)～24\(金\)に建設環境工学科公開講座「建設環境工学科インターンシップ～建設環境の世界をのぞく～」を開催しました。この講座は、本学科で行っている現場見学や実習を実際に体験することで学習内容や学科の雰囲気などを理解してもらうことを目的に中学生を対象として行いました。](#)

[1日目はトンネル工事現場やセメント工場を見学し、2日目は高専の実験室で水分析や水処理実験を体験しました。ちょっと難しい内容もありましたが、参加した中学生10名は、真剣な表情で一生懸命取り組んでいました。](#)

[参加してくれた中学生の皆さん、暑い中お疲れ様でした。今回の体験を是非、進路決定に役立ててください！](#)



水処理実験の様子

お疲れさまでした！

0コメント

本校学生がクリントン国務長官の前でスピーチをしました

投稿日時: 2012-08-23 16:56:45 : 平成24年度の話

去る7月8日(日)に本校のコミュニケーション情報学科2年の有本温子さんが、訪日中のクリントン国務長官の前で、今秋から米国に留学し、将来は外交官になる目標をスピーチしました。

このスピーチは東日本大震災の被災地の若者らを対象に支援を進める「トモダチ・イニシアチブ」の一環として、米政府が日本政府や企業の協力を得て東京・赤坂の米大使公邸に日米の高校生や大学生計約20人が招かれ、その中で行われました。

→スピーチの様子はこちら(ビヨンドトゥモローのホームページ)

●スピーチ内容

有本温子です。私は東京電力福島第一原子力発電所のある福島県大熊町から来ました。

東北の学生を代表し、クリントン国務長官にお話する機会を得られたことはとても名誉なことです。震災後東北は、アメリカの人々から多くの支援を受けました。そしてその支援のおかげで、今日、私はここに立つことが出来ています。

自宅は原発から3kmのところにあつたので、私は他の町への避難を余儀なくされました。高い放射線レベルのため、大熊町は立ち入ることができなくなり、私はいつ故郷に帰れるか分かりません。震災により、私は、家と、故郷での当たり前の日常を失い、友達や地域の人々とも離れ離れになってしまいました。3月11日を堺に私の人生は完全に変ってしまいました。

しかし、私は決して自分は不幸だと思いません。震災のおかげで私を新しい道へ導いてくれる方々との出会いがありました。TOMODACHIとビヨンドトゥモローの支援を得て、私は9月からアメリカへ留学予定です。

TOMODACHI世代を代表し、今日クリントン国務長官とお話できてとても光栄です。そして、日本が最も困難な状況にあった時に助けてくれた、アメリカの方々に礼を言いたいと思います。9月に渡米した際に、このように助けてくれたアメリカの人々に実際にお会いできることを心待ちにしています。

私の将来の夢は、外交官になることです。世の中には様々な問題があります。全ての問題を一度に解決することはできません。でも、一歩ずつ前進することで問題は解決されていくのだと思います。私たち

TOMODACHI世代こそが、東北、日本、世界の未来を作っていくのだと思います。

ありがとうございました。

0コメント

学生会がエコキャップ運動に参加

投稿日時: 2012-07-30 17:30:39 : 平成24年度の話

福島高専の学生会は、エコキャップ運動としてペットボトルのキャップ4万2800個(107kg)を福島民友新聞社いわき支社に寄せました。売店や各教室などに回収箱を設置し、学生に協力を呼び掛けて集めました。高橋雄一会長ら8人が搬入し、「今後も回収方法を改善しながら続けていきたい」と話しました。





キャップを搬入する様子

0コメント

東北地区高専体育大会を開催しました。

投稿日時: 2012-07-10 16:01:01 : 平成24年度の話題

7月6日(金)～8日(日)の日程で、第49回東北地区高専体育大会福島大会を開催しました。東北地区各高専からの選手団、約900名をいわき市に迎え、陸上競技、バスケットボール、卓球、剣道、テニス、バドミントンの6競技種目を行いました。大会は雨天にも見舞われましたが、各競技とも全国大会への切符をかけ、熱戦が繰り広げられました。

また、秋田高専が主管となり同秋田大会も同じ日程で開催され、バレーボール、ソフトテニス、柔道、硬式野球、サッカー、水泳、ハンドボールの7競技種目が行われました。

なお、福島大会は引き続き、10月12日(金)～16日(火)の日程でラグビーフットボール競技を行います。

全国高専体育大会は、8月中旬～下旬(ラグビー競技は1月4日～)にかけて、今年度は中国地区(主管:米子高専)が担当となり開催されます。

本校の成績は以下のとおりです。

<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/mydownloads/visit.php?cid=0&lid=796>

大会の成績詳細は下記のホームページにてご確認ください。

(福島大会)http://www.fukushima-nct.ac.jp/taikai2012/htdocs/index.php?page_id=0

(秋田大会)<http://akita-nct.jp/12b/>

(全国大会)<http://www.kosen-all.or.jp/>

0コメント

平成24年度第1回参与会を開催

投稿日時: 2012-07-09 09:15:04 : 平成24年度の話題

福島高専では、7月3日(火)平成24年度第1回参与会を開催しました。参与会は本校の教育研究活動等の状況について、外部有識者による助言・提言等を頂き、自己点検・評価に関する活動を支援することを目的として開催しています。参与は教育研究機関・地域産業経済界・同窓会等の有識者ら9名で構成されており、会長には(独)国立高等専門学校機構参与で北海道情報大学学長の長谷川淳氏が就任しています。

今回の参与会では、「平成23年度計画の実施状況および平成24年計画」について、評価担当の渡辺校長補佐から説明があり、参与から助言や提言がなされ、充実した会議となりました。また、地域復興人材育成事業について青柳地域復興支援室長から報告があり、期待が寄せられました。





意見を交わす様子

プレゼンテーションの様子

[0コメント](#)

平成24年度 福島高専協力会定期総会を開催

投稿日時: 2012-06-21 09:22:43 : 平成24年度の話題

6月7日(木)、いわき市内において、平成24年度福島高専協力会定期総会を開催しました。本協力会は、福島県浜通り地域、茨城県北茨城市の企業や商工団体で構成されており、会員や教職員約85名が出席しました。

総会では、会長の中山哲夫いわき商工会議所副会頭、奈良宏一校長の挨拶の後、平成23年度の事業報告・決算、平成24年度の教育研究の振興、連携・協力、技術開発及び技術支援などを内容とする今年度の事業計画等を決定しました。その後事例紹介として、本校青柳克弘教授(地域復興支援室長・教務主事)より「福島高専の地域復興人材育成事業について」、緑川猛彦教授(建設環境工学科長)より「地場産業の副産物を用いた商品開発」について発表があり、続いてJST復興促進センター郡山事務所日下尚司マッチングプランナーによる事業説明が行われました。



協力会総会の様子青柳教授の事例発表

[0コメント](#)

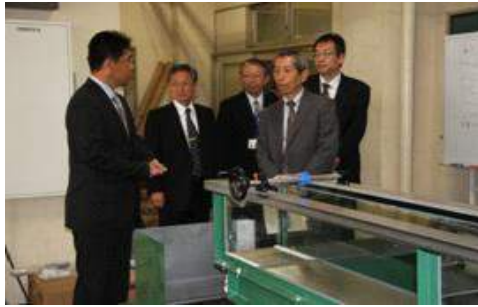
高専機構の小畑理事長・小谷施設課長が本校を視察

投稿日時: 2012-05-23 16:18:21 : 平成24年度の話題

高専機構の小畑理事長が5月10日(木)に本校を訪問しました。

小畑理事長は、福島高専奈良校長から本校の概要及び東日本大震災での被災状況・その後の対応について説明を受けるとともに、地域復興に向けた施策などについて、意見交換を行いました。

懇談後、校長の案内により、専攻科棟・建設環境工学科棟・学生寮や、実習工場において、教育・研究の状況、また「福島高専地域復興支援室」による放射線計測機器を用いた計測状況も視察しました。このたびの視察には機構本部から小谷施設課長が随行しました。



教員から水理実験装置の説明を受ける
小畑理事長(右から二人目)

放射線測定の説明を受ける
小畑理事長(左から三人目)

[0コメント](#)

東北地区高専校長・事務部長会議を開催

投稿日時: 2012-05-23 16:05:06 : 平成24年度の話

平成24年度東北地区高専校長・事務部長会議(春季)が、5月10日に、福島高専を当番校として、いわき市内のホテルで開催されました。

会議は国立高専機構から、小畑理事長及び小谷施設課長をはじめ、東北地区6高専の校長及び事務部長が出席しました。会議では福島高専の奈良校長及び高専機構の小畑理事長による挨拶の後、「教員の人事交流制度の運用について」「モデルコアカリキュラムへの対応について」など8件を協議し、また、同時に平成24年度東北地区高専体育大会の実行委員会も開催されました。引き続き、東北地区高専体育連盟役員会が開催され、平成24年度の大会要項等が決定されました。



挨拶する小畑理事長

校長・事務部長会議

[0コメント](#)

福島高専卓球部・高体連地区大会で6冠達成

投稿日時: 2012-05-22 16:49:56 : 平成24年度の話

5月11日から13日に行われた福島県高校総合体育大会卓球競技いわき地区予選会において、福島高専卓球部が、男子学校対抗・女子学校対抗・男子ダブルス・女子ダブルス・男子シングルス・女子シングルの全種目で優勝し、平成19年以来5年ぶりに6冠を達成しました。

男子学校対抗は8連覇を達成したほか、男子シングルス(出場者数202名)においてはベスト8全てを福島高専の選手が独占し、準々決勝以降は同校対決となりました。また、今年度入学した新入生も男子シングルス・女子ダブルスで優勝するなど健闘しました。

6月1日から郡山市で開催される県大会でも活躍が期待されます。



閉会式後の集合写真

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=20&storynum=30>>

平成24年度 福島高専後援会総会を開催

投稿日時: 2012-05-21 11:22:56 : [平成24年度の話題](#)

5月16日(水)に福島高専の第1体育館で後援会総会が開催されました。後援会総会では、小松会長と奈良校長から挨拶があり、本校の50周年記念行事に関する話がありました。議事では、平成23年度の決算報告と平成24年度の学校行事計画や後援会予算案が提出され、50周年創立記念の助成金が去年に引き続き盛り込み、承認されました。また、平成23年度で退任された副会長の鈴木勇さんと監查理事の植木英泰さんへ感謝状の贈呈がありました。今年も多くのご保護者の方が参加され、熱心に話を聞いている様子が見受けられました。総会終了後に、各クラスで学級懇談会を開催しました。



挨拶をする小松会長

副会長の表彰

[0コメント](#)

みちびきアート参加者インタビュー

投稿日時: 2012-05-08 15:55:06 : [平成24年度の話題](#)

2010年9月11日に鹿児島県 種子島宇宙センターから衛星が打ち上げられ、準天頂衛星 初号機「みちびき」と名づけられ日本独自の測位システムの構築に向けた準備が進められています。このみちびきの性能評価の一環として、全国の高校生たちが参加したみちびきアートがあります。「みちびきアート」とは、「みちびき」対応のGPS受信機を持って街を歩き、自分の歩いた軌跡を地図に重ねることで地図上に「アート」を描くものです。この企画は、2011年秋に[JAXA宇宙教育センターのウェブサイトを通じて参加の募集](#)を行い、「みちびき」が昼間天頂付近にいる冬季の2カ月間実施しました。高校生を中心とする全国から20校/団体が「みちびき

アート」に参加しました。本校の天文部と化学愛好会も参加し、地上からメッセージを送り、を日本地図上に集結させたポスター“「みちびきアート」で彩りの日本！”として発表されていました。参会者の[インタビューがJAXAのHP](#)に掲載されていますので、お知らせします。

[0コメント](#)

貼り付け元 <<http://www.fukushima-nct.ac.jp/modules/news/index.php?storytopic=20&start=30>>